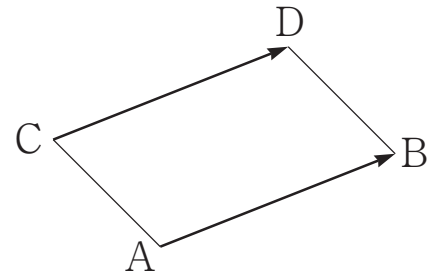


## ◆◆ ベクトルの相等

2つのベクトルが等しいというのは、それらを表す有向線分の向きと長さが一致することである。いかえれば、2つのベクトルが等しいときには、それらのベクトルを表す有向線分の一方を平行移動して、他方に重ね合わせることができる。たとえば、右の図の場合  $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{CD}$  である。

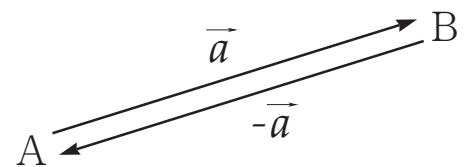


**問 1** 上の平行四辺形で、次のベクトルのうち互いに等しいものをいえ。

- ①  $\overrightarrow{AC}$       ②  $\overrightarrow{BA}$       ③  $\overrightarrow{BD}$       ④  $\overrightarrow{DC}$

## ◆◆ 逆ベクトルと零ベクトル

ベクトル  $\vec{a}$  と大きさが同じで、向きが反対のベクトルを  $\vec{a}$  の逆ベクトルといい、 $-\vec{a}$  で表す。

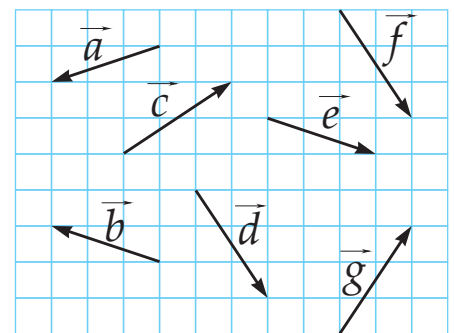


$\vec{a} = \overrightarrow{AB}$  のときは

$$-\vec{a} = \overrightarrow{BA}$$

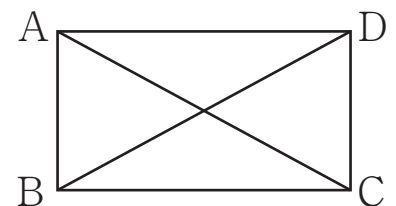
すなわち、 $\overrightarrow{BA} = -\overrightarrow{AB}$  である。

**問 2** 右の図の中で、等しいベクトルをいえ。また、互いに逆ベクトルであるものをいえ。



**問 3** 長方形 ABCD の頂点を始点、終点とするベクトルを考える。

- (1)  $\overrightarrow{AD}$  に等しいベクトルをいえ。
- (2)  $\overrightarrow{AC}$  と大きさが等しいベクトルをいえ。
- (3)  $\overrightarrow{AB}$  の逆ベクトルをいえ。



始点と終点の一致したベクトル  $\overrightarrow{AA}$  を **零ベクトル** といい、 $\vec{0}$  で表す。 $\vec{0}$  の大きさは 0 である。 $\vec{0}$  の向きは考えない。